

# 生産資材の見直しと支払い条件調整による経営改善型コスト削減

福岡県

有限会社ベジタブルセンターUFO

<https://v-ufo.com/>



経営耕地面積合計

31ha  
(借地含む)

主な生産品目 (露地野菜)

キャベツ  
25ha

スイカ  
6ha

売上規模

1億円以上

従業員体制

常勤4~6名  
パート多数

## 資材の仕入れ等にかかる独自の取組み

- 生産資材の代替・最適化
  - ・肥料は代替資材へ切り替え。石灰窒素は使用を中止、安価なJA推奨の苦土やケイ鉄へ変更。
- JA、卸、メーカー直送など複数の仕入れルートの見積・案内を入手し価格を比較。品目毎の調達ルートでの最適化と適正価格を迫り
  - ・肥料はJA「満車直送」を活用し自社倉庫へ約3,000袋を一括搬入。
  - ・農薬は長年取引のある商系販売店から直接仕入れ。
  - ・段ボール資材は商系販売店との直接取引。
- 設備投資・物流費の抑制
  - ・高価な自動選別機は導入せず、手造り設備を活用し低コストで高い作業効率を確保。  
農業機械は中古機も活用。
- 支払条件の最適化
  - JAや販売店との交渉により、主要資材は収穫後の入金時期に合わせた「年2回払い」とするなど、資金繰りに配慮した支払い条件を確保。

## 導入効果

- 生産資材関連
  - ・肥料については、石灰窒素から苦土・ケイ鉄へ切り替えることで、年間約53% (約700万円) のコスト削減を実現。
- 資金繰りの改善
  - 年2回払いにより、肥料代を中心とした年間約1,000万円規模の資金負担を緩和。  
キャッシュフローを改善。
- 「複数ルート比較 × 小売価格確認 × 同業者情報 × 代替資材比較」により、価格の妥当性を徹底的に検証し、最も費用対効果の高い調達を実現。

項目	削減内容	表示
肥料	石灰窒素から苦土・ケイ鉄へ切り替え	▲53%
農薬	直接調達×新薬活用×徹底比較	大幅低減
物流・資材	段ボール直接取引、燃料まとめ買い	継続圧縮
農機	購入費削減+必要台数確保	大幅削減